強い東北の創造　**縦」、横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進**

事業名	格子状骨格道路ネットワーク事業 （東北６県）

事業の必要性・事業の概要

事業の概要」

都市間距離と峠と雪を克服し、広域的な交流・連携を促進するとともに、都市と周辺市町村との連携による新しい地域間のつながりを支援するため、高規格幹線道路と地域高規格道路による４本の南北軸、７本の東西軸で構成される格子状骨格道路ネットワークについて、投資効果を最大限に発揮できるよう重点的かつ効率的に整備を進めます。また、新直轄方式の高速自動車国道（3路線 7区間）について、引き続き事業・調査を進めます。

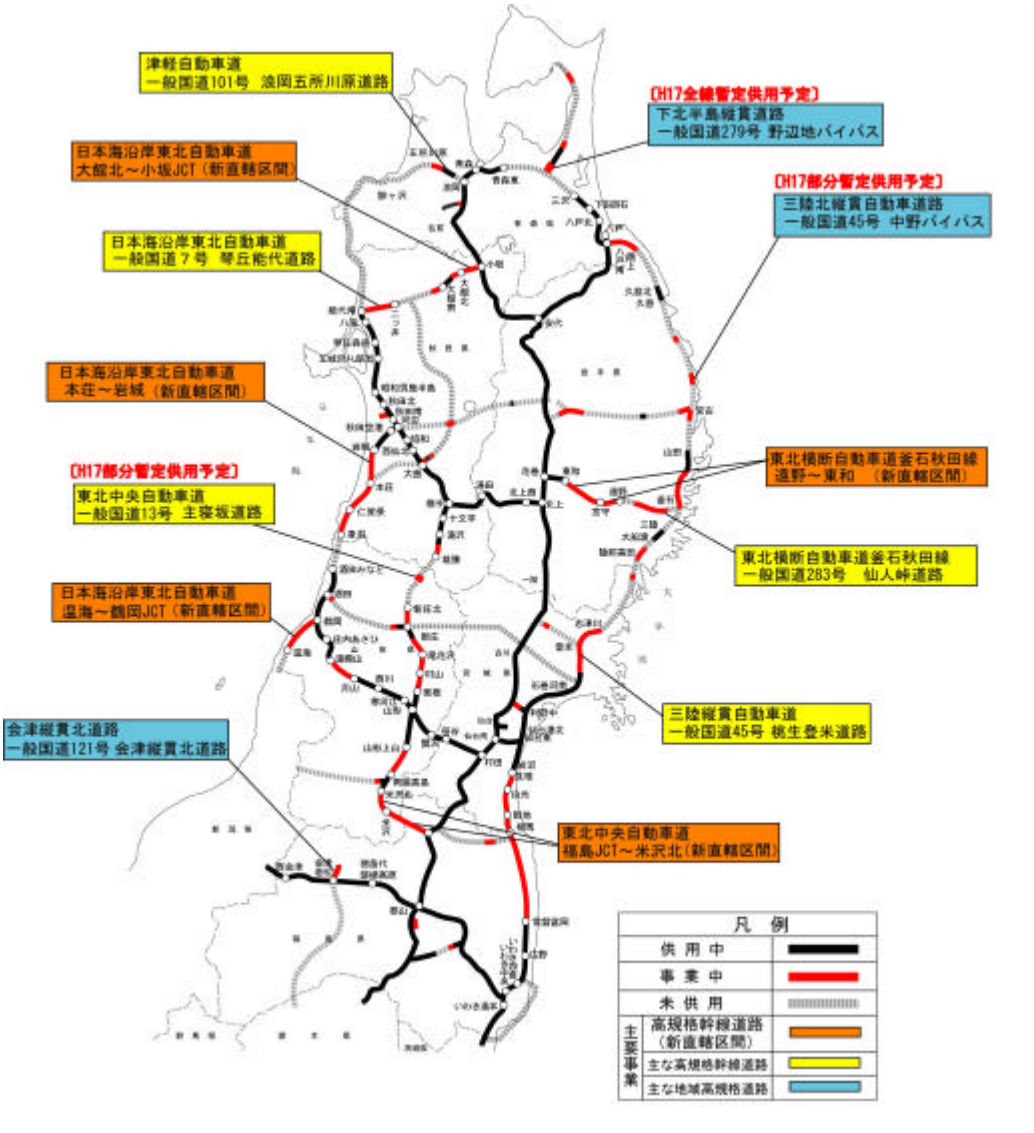
【延長（km）】

		全体計画	H１６末まで	H１７供用予定	H１９末まで
高規格幹線道路	全国	14，000	8，740	－	－
	東北	2，204	1，389	5	1，519
地域高規格道路	全国	6，950	1，620	－	－
	東北	660	82	6	112

成果目標	現在	５年後	長期
規格の高い道路を使う割合	8%	約 9%	約１５%

※目標年次は、「社会資本整備重点計画」(H15～19)に即し、H14年度末を現在とし、５年後(H19)の目標値を設定。

東北地方における自動車専用道路ネットワーク]



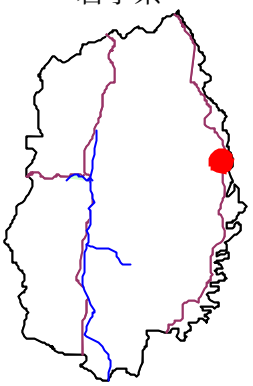
H16.8.26 現在　　※事業中には高速自動車国道の整備計画区間、及び着工準備区間を含む

強い東北の創造　縦」、横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	三陸北縦貫道路　一般国道45号　中野バイパス（直轄） （岩手県下閉伊郡岩泉町～田野畑村）
事業着手：昭和61年度	完成・供用の目標年度：平成17年度部分供用予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



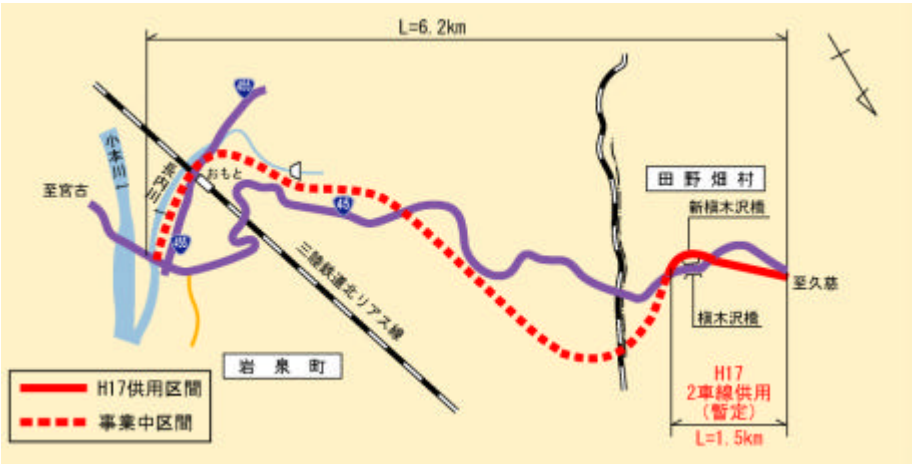
事業の必要性」

一般国道45号における当該区間は、急カーブ・急勾配が連続するなど、隘路区間となっています。

また、槇木沢橋は幅員狭小（W＝6.0m）のうえ歩道も無いため、歩行者が危険にさらされており、早急な対策が必要となっています。

事業の概要」

中野バイパスは、当該区間における一般国道45号の線形不良解消及び交通安全の確保を図るとともに、地域間の交流・連携に寄与することを目的とした延長6.2kmのバイパス事業です。



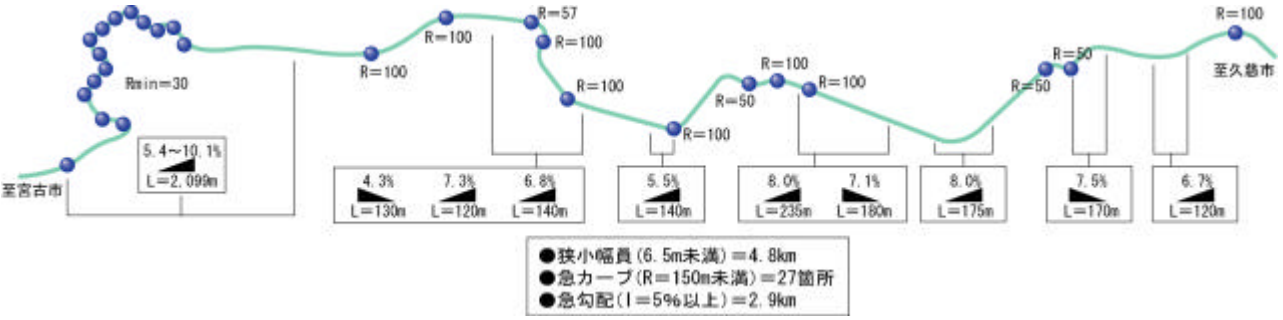


▲ 狭小幅員のため危険にさらされている歩行者

急カーブ、急勾配の連続で交通事故が多発しています ▶



【現道は急カーブ、急勾配の連続】



平成17年度事業費及び事業内容

○ 事業費：1,080百万円
○ 改良舗装工事を推進するとともに思案坂大橋の完成を図り、一部区間L＝1.5kmについて、2車線供用を図る予定です。

事　業　効　果

○ 狭小幅員（6.5m未満）　4.8km（現況）　→　0km（全線供用後）
○ 急カーブ（150m未満）　27箇所（現況）　→　0箇所（全線供用後）
○ 急勾配（5%以上）　2.9km（現況）　→　0km（全線供用後）